



CellSource

2020年10月期第2四半期 決算説明資料

セルソース株式会社

2020年6月



決算ハイライト



決算の状況



トピックス



成長戦略

前年同期比で増収増益を達成(売上高+16%、営業利益+46%、純利益+42%)

(百万円)	2019/10期2Q(前期) (2018年11月-2019年4月)	2020/10期2Q(当期) (2019年11月-2020年4月)	前年同期比
売上高	767	886	+118 (+16%)
売上総利益	545	598	+52 (+10%)
販管費	416	410	▲6 (▲2%)
営業利益	128	187	+59 (+46%)
四半期(当期)純利益	83	118	+34 (+42%)

2020年10月期業績予想に対する上半期累計の利益進捗は約50%

(百万円)	2020/10期(予想) (2019年11月-2020年10月)	2020/10期2Q(実績) (2019年11月-2020年4月)	進捗率
売上高	1,972	886	45%
営業利益	365	187	51%
経常利益	365	187	51%
四半期(当期)純利益	234	118	50%

各サービスの受託件数・提携医療機関数ともに増加ペースが加速

	2019/10期2Q(前期) (2018年11月-2019年4月)	2020/10期2Q(当期) (2019年11月-2020年4月)	前年同期比
売上高営業利益率(%)	16.8	21.2	+4.4
脂肪由来幹細胞 加工受託件数(件)	273	453	+180
血液由来加工受託件数(件)	1,515	3,028	+1,513
期末提携医療機関数(院)	192	404	+212



決算ハイライト



決算の状況

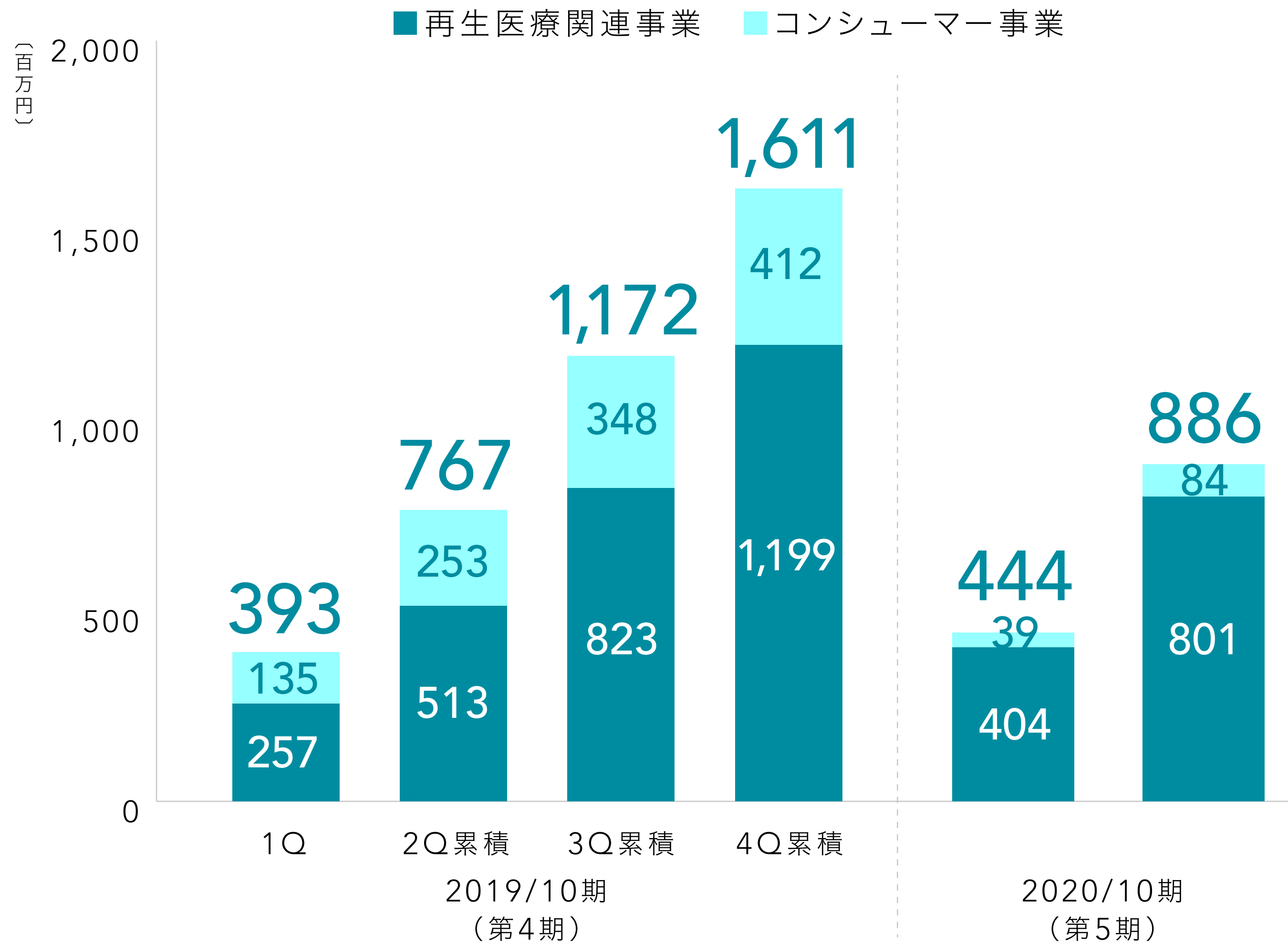


トピックス



成長戦略

再生医療関連事業の売上高は順調に増加。コンシューマーは販売戦略見直し中



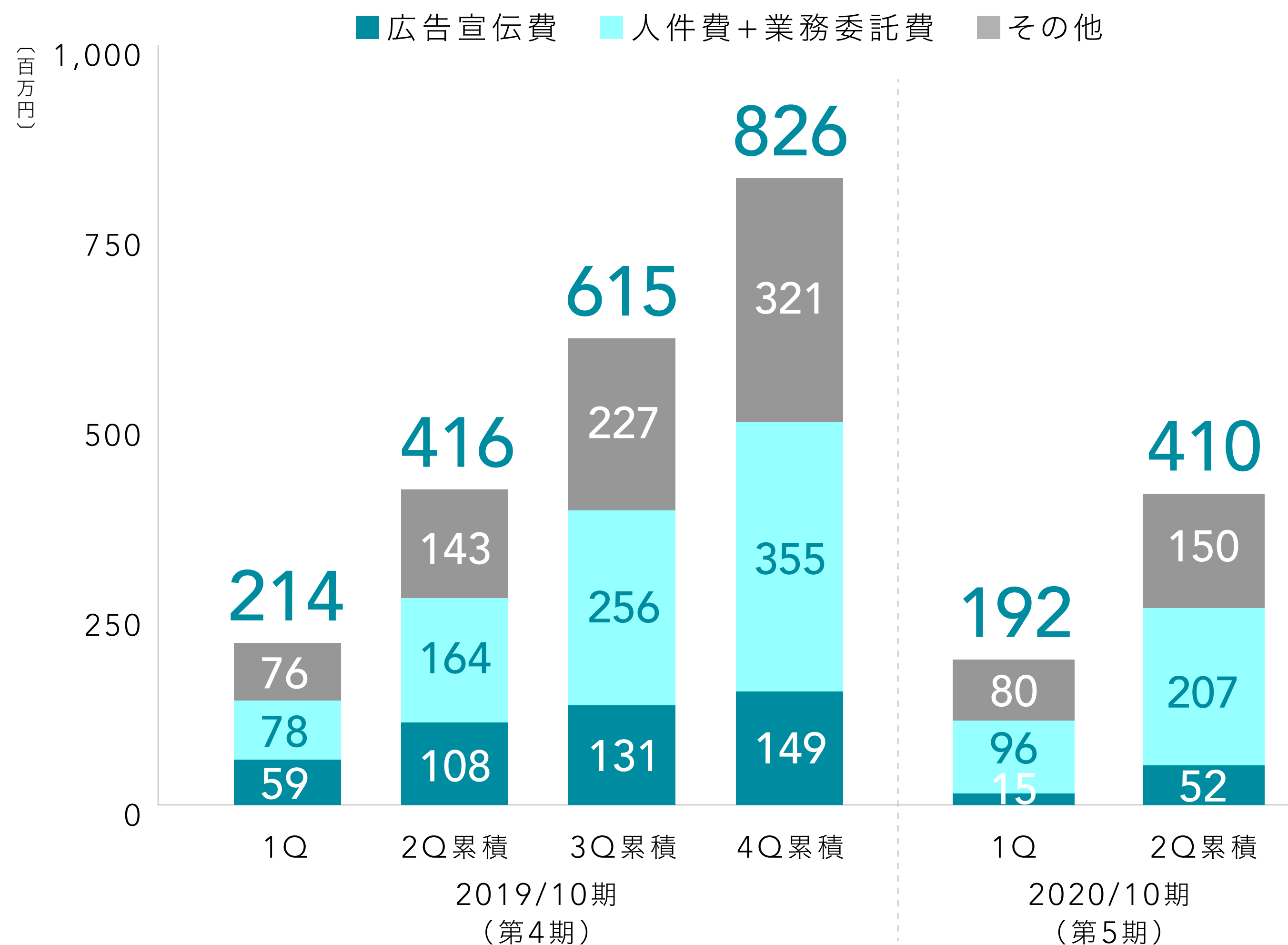
# 886 百万円

(前年同期比) **+118** 百万円

再生医療関連事業 (前年同期比)  
**801** 百万円 **+288** 百万円

コンシューマー事業 (前年同期比)  
**84** 百万円 ▲ **169** 百万円

コンシューマー事業の広告宣伝費を抑制し、販管費減少



# 410

百万円

(前年同期比) ▲6百万円

広告宣伝費 (前年同期比)

# 52

百万円 ▲56百万円

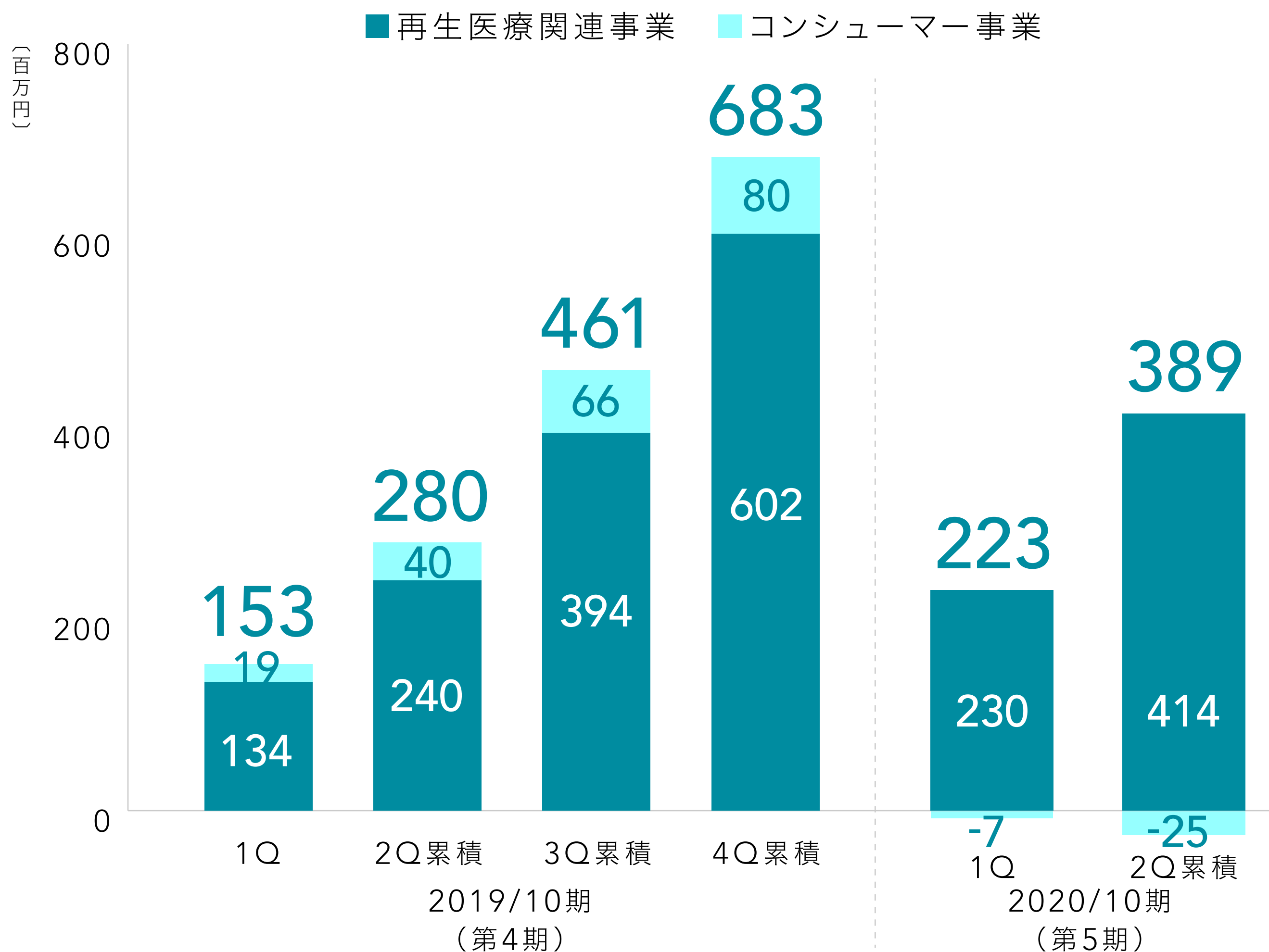
人件費+業務委託費 (前年同期比)

# 207

百万円 +43百万円



再生医療関連事業の営業利益は前年同期比73%増加



# 389 百万円

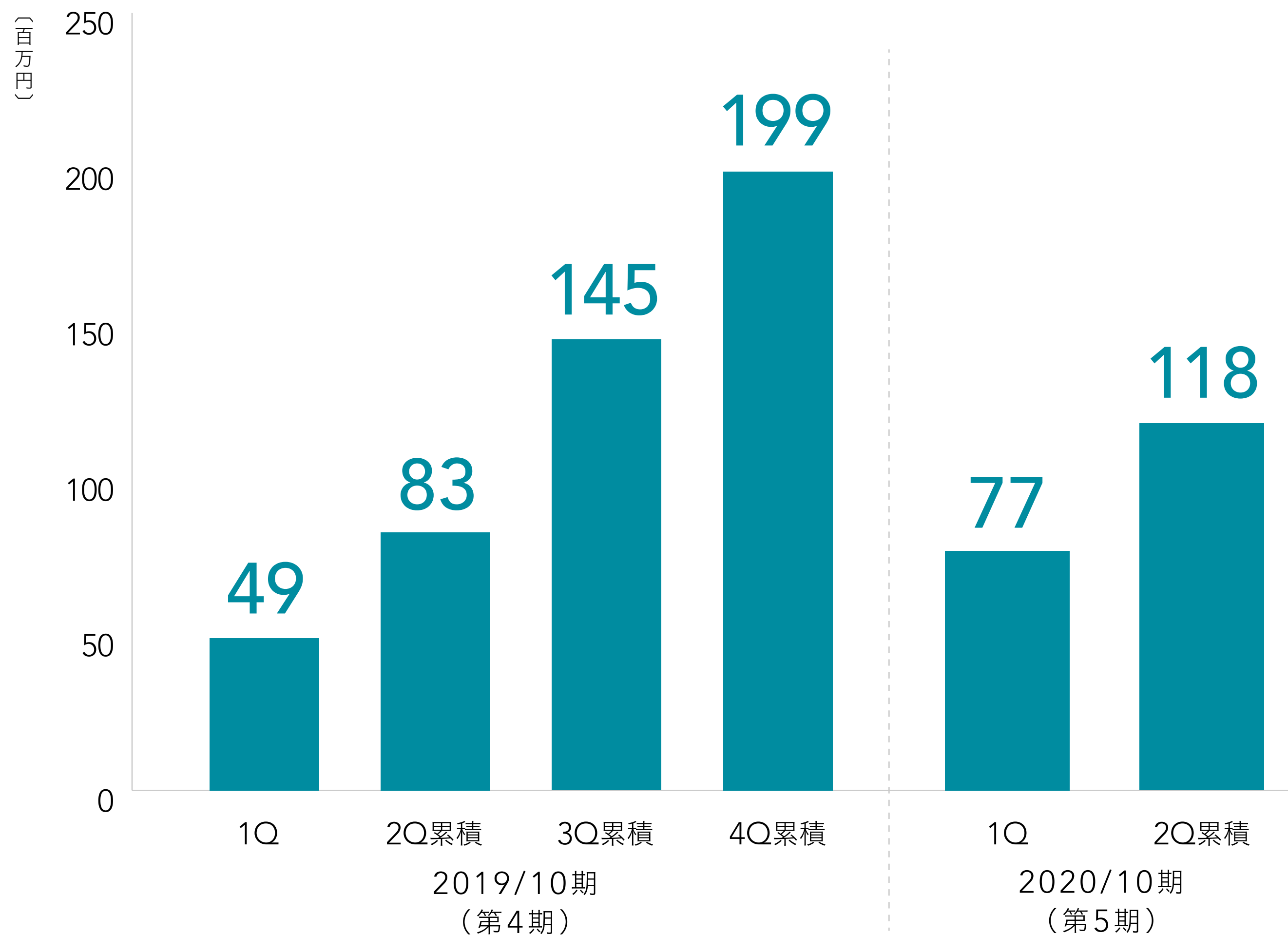
※ 報告セグメントに含まれない全社費用98百万円調整後の営業利益は124百万円です。

(前年同期比) **+108** 百万円

再生医療関連事業 (前年同期比)  
**414** 百万円 **+174** 百万円

消費者事業 (前年同期比)  
**▲25** 百万円 **▲65** 百万円

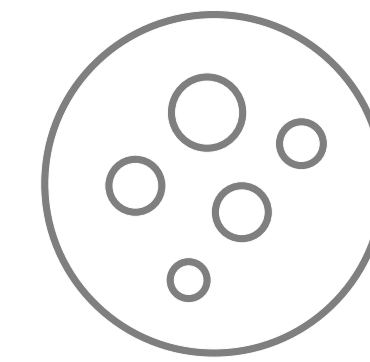
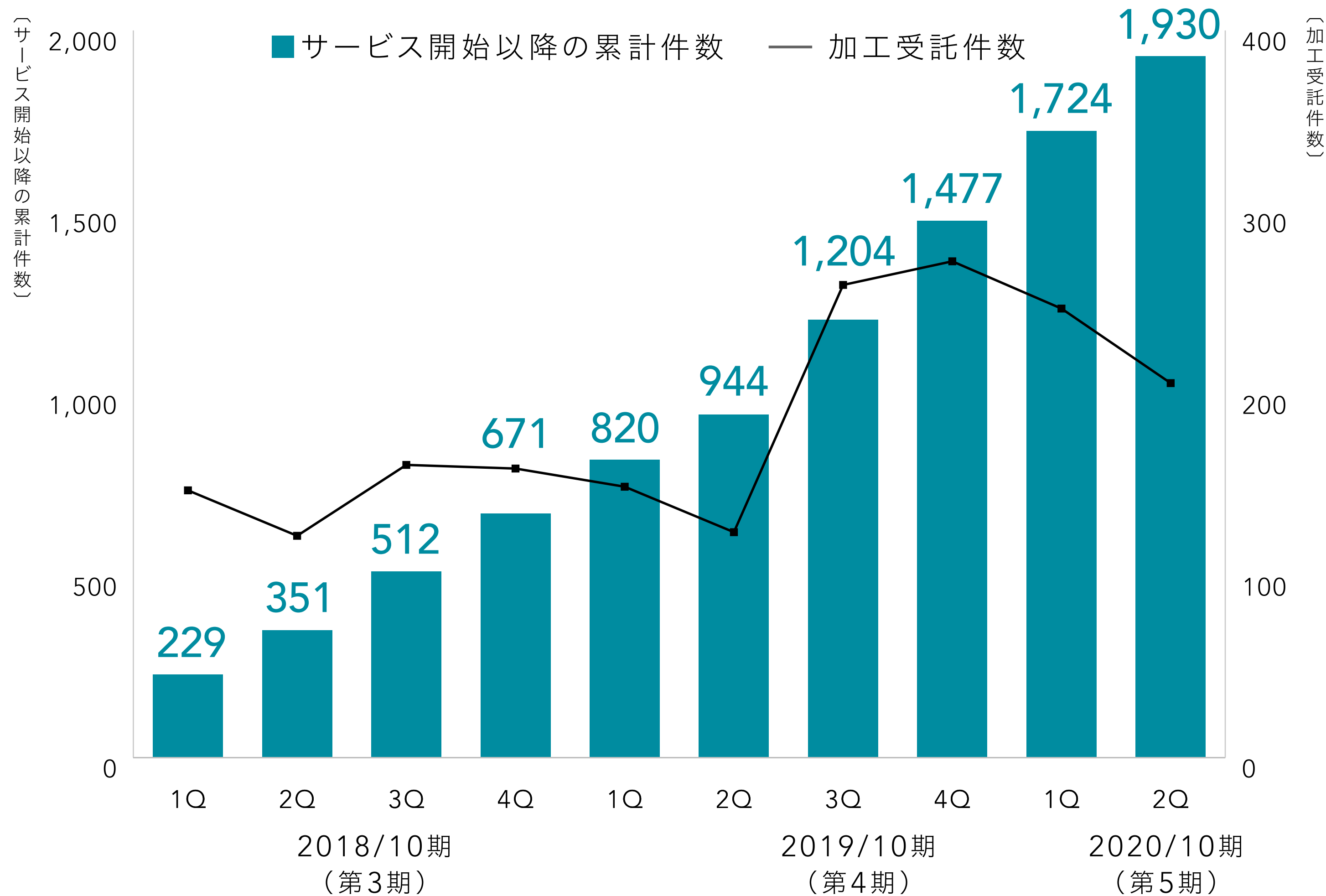
増収および販管費抑制により前年同期比42%増加



**118** 百万円  
(前年同期比) **+34** 百万円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う減少があるも、高水準を維持

## 脂肪由来幹細胞加工受託件数(ASC)



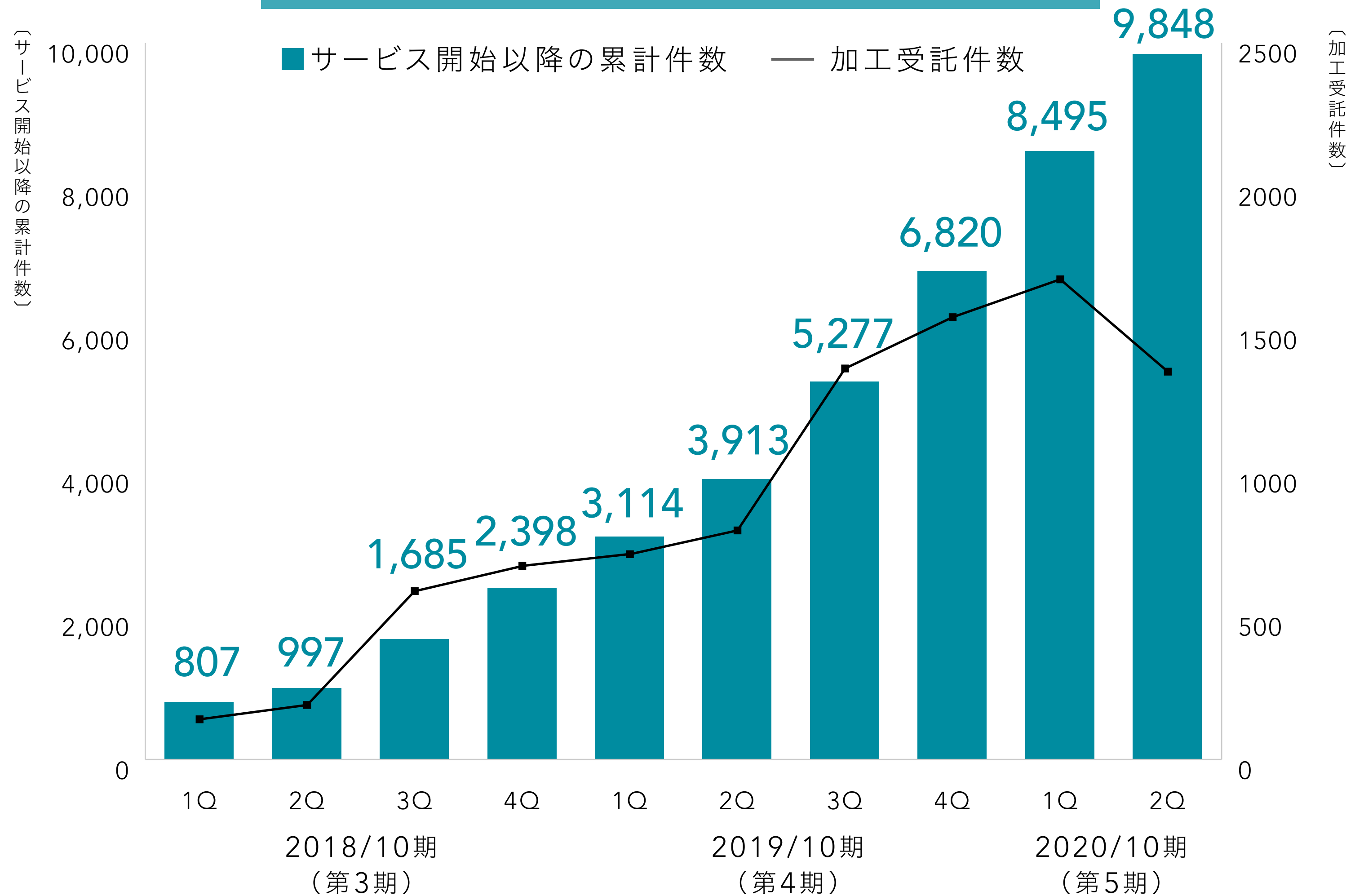
累計

1,930件

当期2Q 206件

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う減少があるも、高水準を維持

## 血液由来加工受託件数 (PFC-FD)

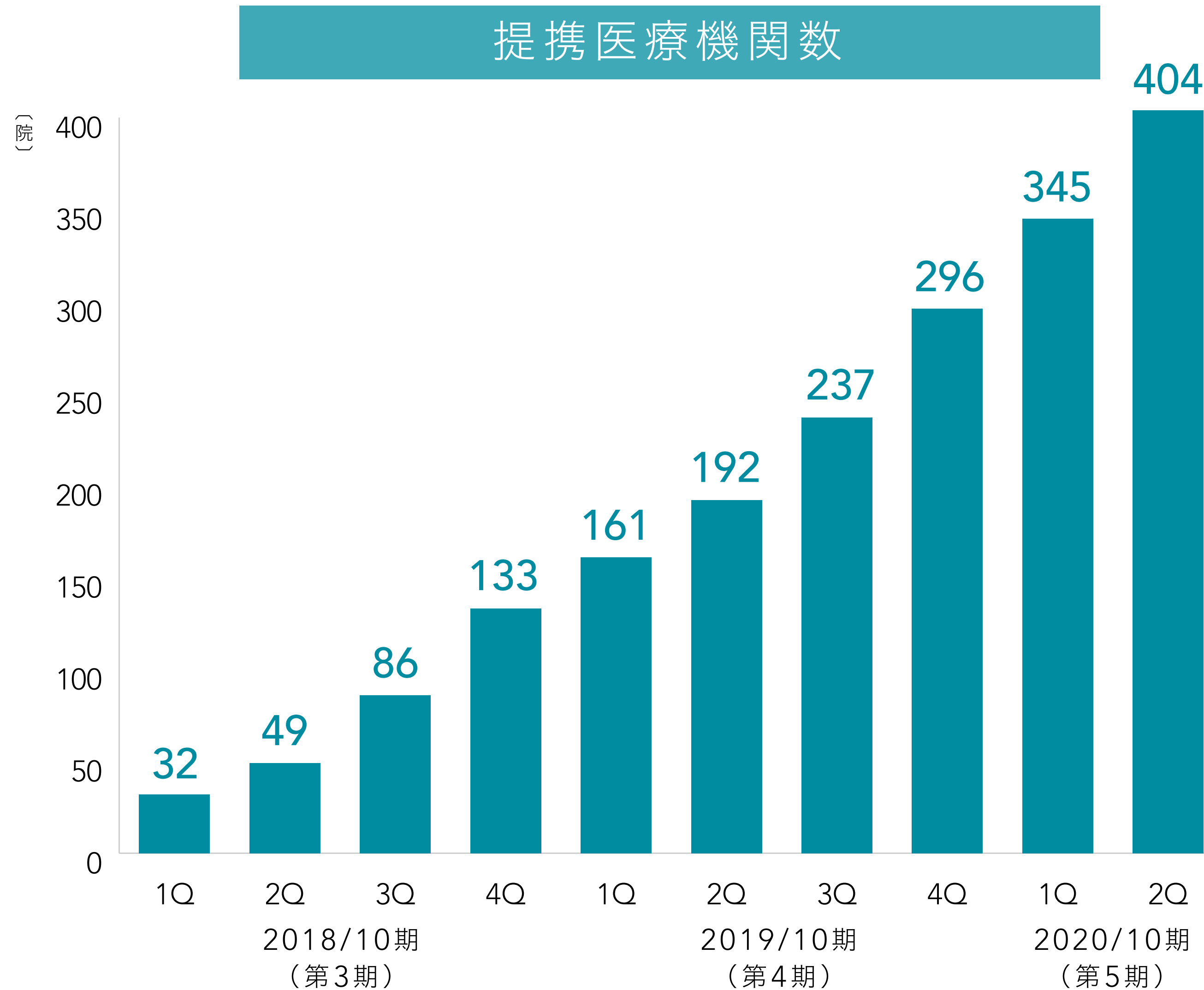


累計

9,848 件

当期2Q 1,353 件

順調に増加し、本四半期に提携した医療機関数は前期第4四半期と並んで過去最高




**404**院

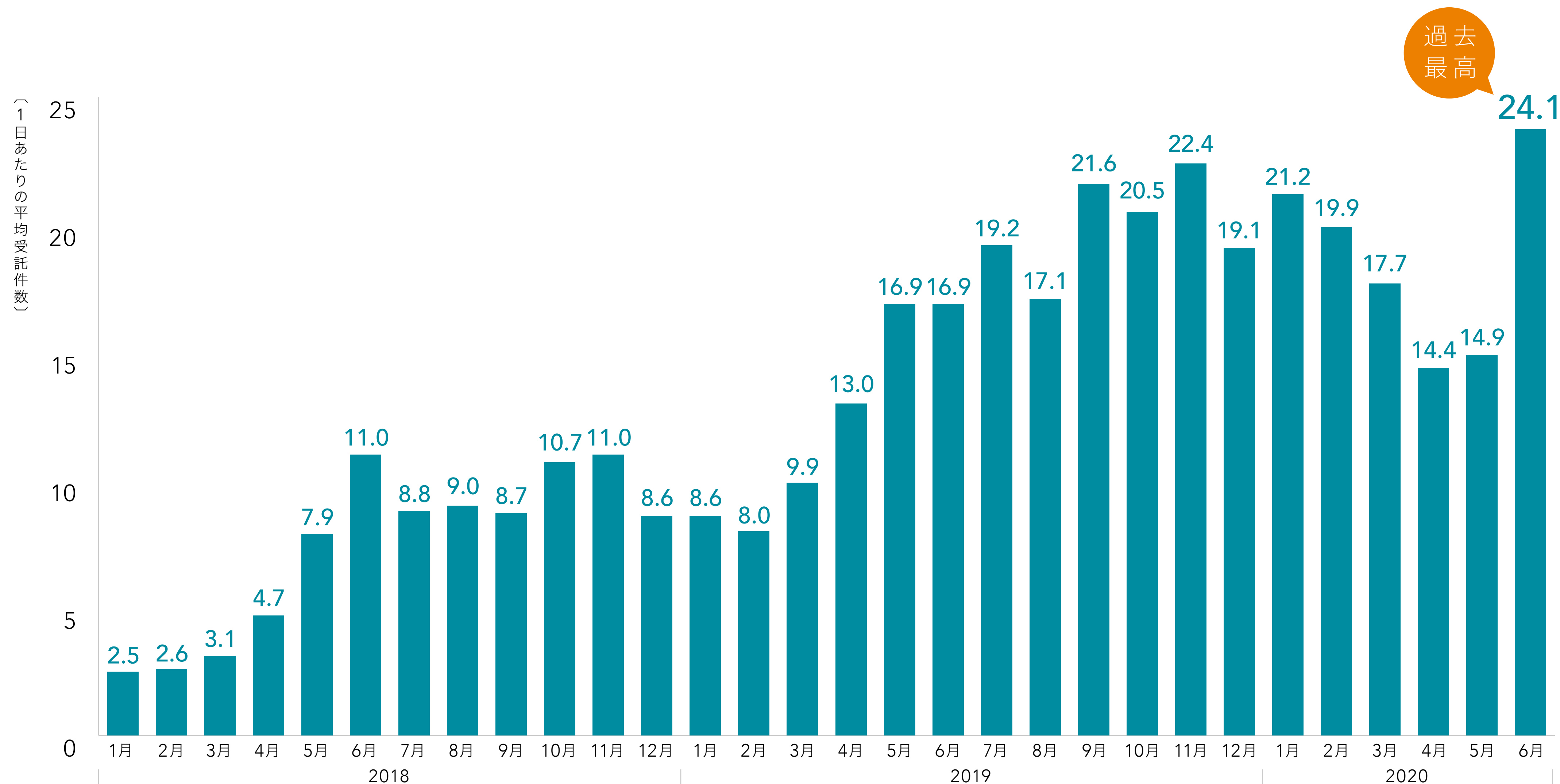
当期2Q 過去最高 **59**院契約

新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大に伴い前四半期比で減収減益だったものの、緊急事態宣言解除後は回復傾向

(百万円)	2018年10月期				2019年10月期				2020年10月期		前Q比
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	
売上	215	272	342	381	393	373	404	439	444	441	▲2
(再生医療関連事業)	144	183	207	241	257	256	309	376	404	397	▲7
(コンシューマー事業)	71	89	135	139	135	117	95	63	39	44	+4
販管費	80	115	185	198	214	202	198	211	192	217	+25
営業利益	64	72	57	100	76	52	99	99	124	63	▲61
四半期純利益	41	47	36	67	49	34	62	53	77	40	▲36
加工受託件数(件)	287	312	849	872	865	923	1,624	1,816	1,922	1,559	▲363
(脂肪由来幹細胞加工受託件数(件))	147	122	161	159	149	124	260	273	247	206	▲41
(血液由来加工受託件数(件))	140	190	688	713	716	799	1,364	1,543	1,675	1,353	▲322
期末提携医療機関数(院)	32	49	86	133	161	192	237	296	345	404	+59

# 加工受託件数（1日あたりの平均受託件数の推移）

新型コロナウイルスの影響により加工受託件数は一時的に減少も底打ちし、6月は過去最高ペースまでV字回復



※2020年6月は、6月1日から6月14日までの加工受託件数の平均値です。

1

決算ハイライト

2

決算の状況

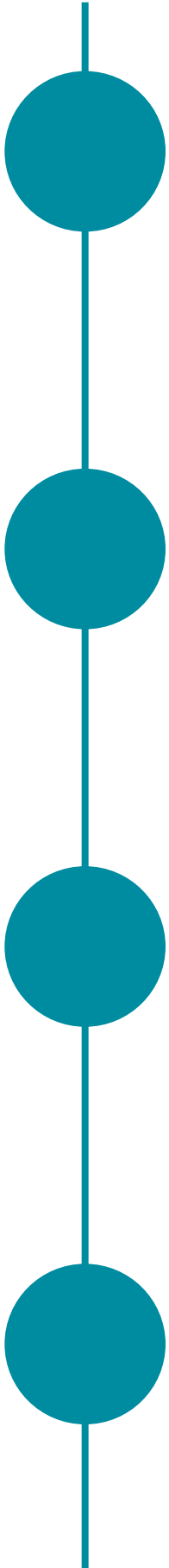
3

トピックス

4

成長戦略



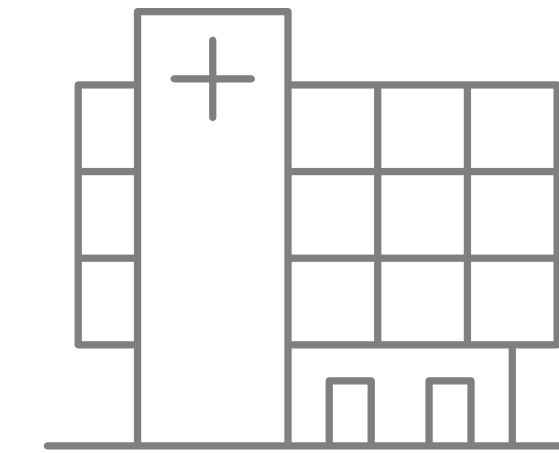
- 
- 2020.03 不妊治療を目的としたPFC-FDの加工受託サービスを開始し、産科・婦人科向けに事業領域を拡大へ
  - 2020.03 脂肪由来幹細胞加工受託サービスが富山大学附属病院の乳がん先端治療・乳房再建センターにて採用
  - 2020.04 スキンケア「Signalift」が首都圏のファミリーマート店舗にて販売開始
  - 2020.05 順天堂大学とPFC-FD・エクソソームを用いた不妊治療の手法について共同研究契約を締結



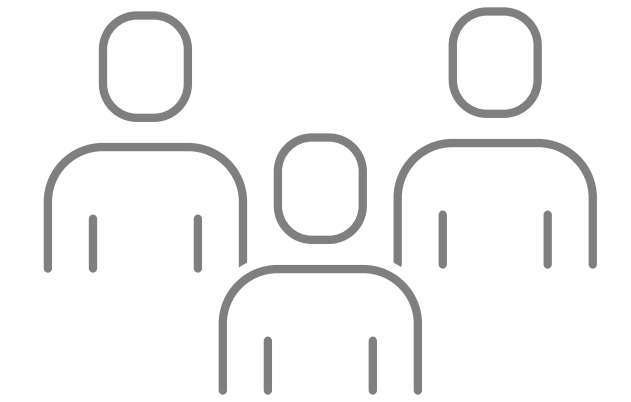
血液由来加工受託サービス(PFC-FD)\*  
フリーズドライ化により、  
医療機関内にて室温かつ長期間での保存が可能



産科・婦人科



患者さま



治療

不妊治療に用いるための  
PFC-FDの加工受託サービスを開始

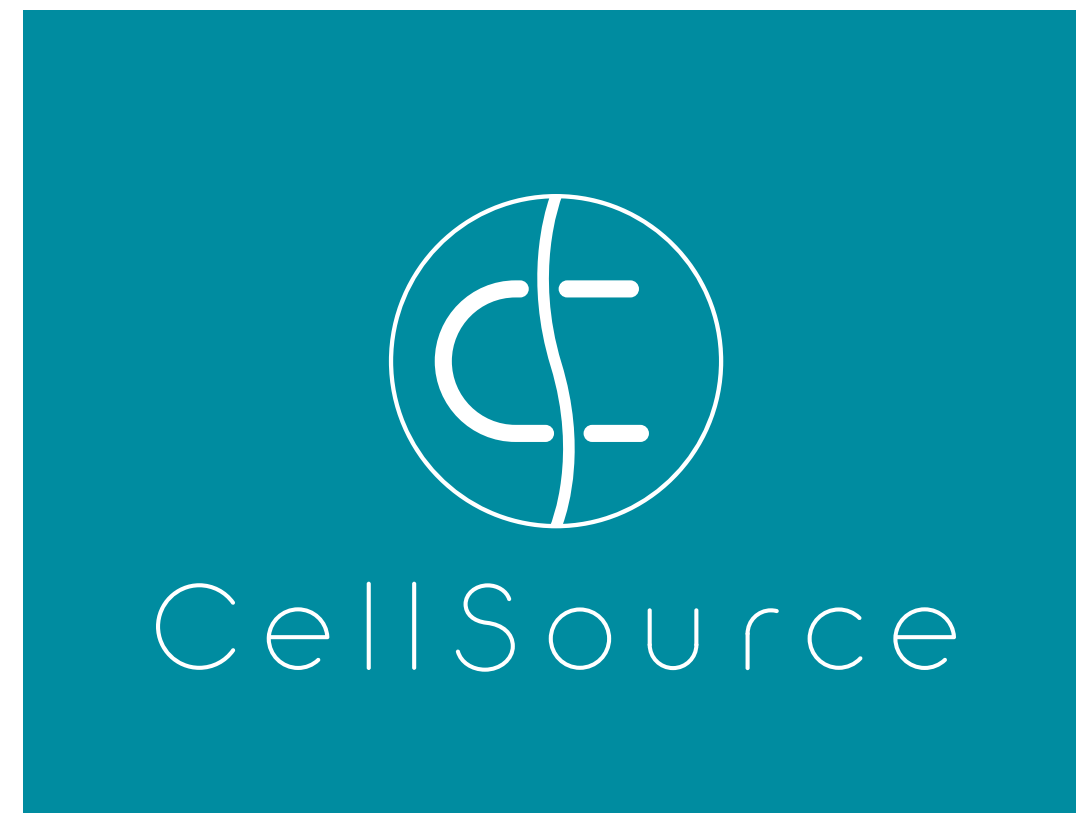
子宮内に投与することで受精卵の着床の可能性を高める不妊治療を目的としたPFC-FDの作製を医療機関より受託する。

2020年6月時点で提携医療機関数は12院

順天堂大学とPFC-FD・エクソソームを用いた  
不妊治療手法の共同研究契約を締結

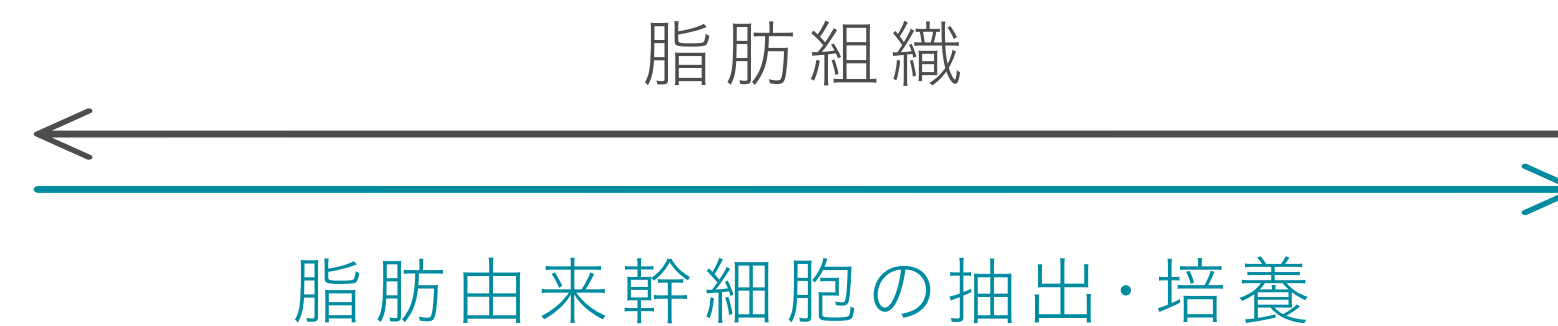
PFC-FDやエクソソームを女性の卵巣内に投与することで卵巣機能不全の改善を目指す共同研究を実施。

\* PFC-FDはフリーズドライ加工によってパウダー状に調製されているため、医療機関さまの施設内において室温での長期保存が可能です。なお、PFC-FDの調製方法は当社にて特許を取得しています。

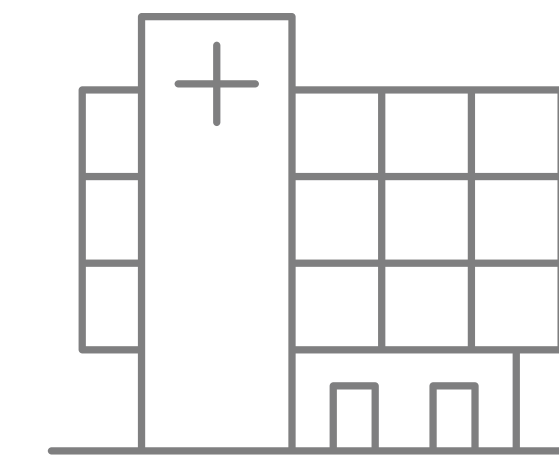


## 脂肪由来幹細胞加工受託サービス(ASC)

加工に必要な脂肪組織は20mLと少量、  
培養後複数回に分けての投与可能

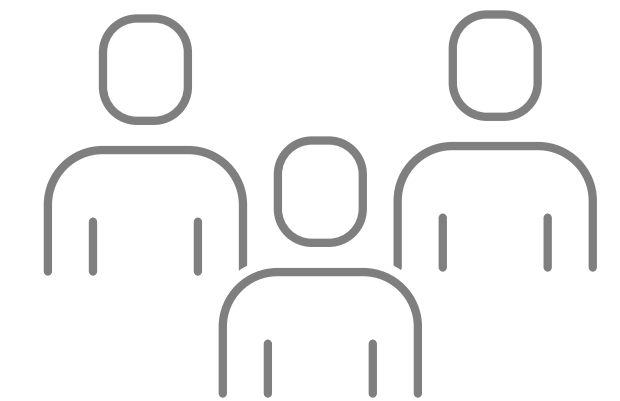


## 形成外科



治療

## 患者さま



脂肪と一緒に乳房欠損部に注入する、患者さま自身の脂肪由来幹細胞の加工を医療機関より受託する。

乳房再建を対象とした脂肪由来幹細胞の加工受託は、大学附属病院では横浜市立大学附属市民総合医療センター形成外科に続いて2施設目。



決算ハイライト



決算の状況



トピックス



成長戦略

様々な大学・行政機関と提携し、事業に取り組む

## 大阪大学

「エクソソーム」を含む細胞分泌物を用いた  
変形性関節症治療法の開発に向けた共同研究

## 横浜市立大学 富山大学

当社で加工を受託する脂肪由来培養幹細胞を用いた  
再生医療による乳房再建

## 順天堂大学

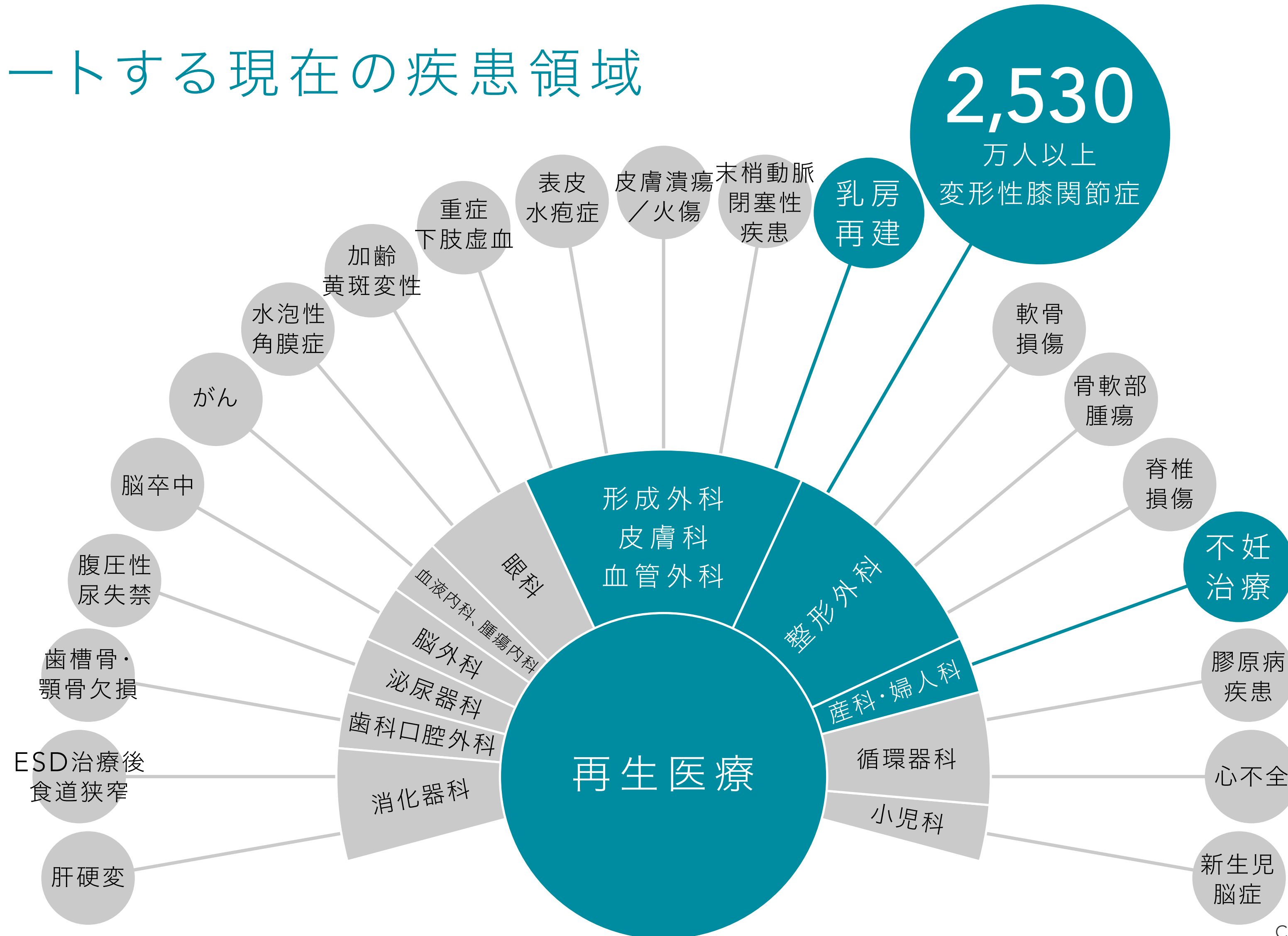
PFC-FD・エクソソームを用いた  
女性の卵巣機能不全の改善を目的とする共同研究

## 大阪府

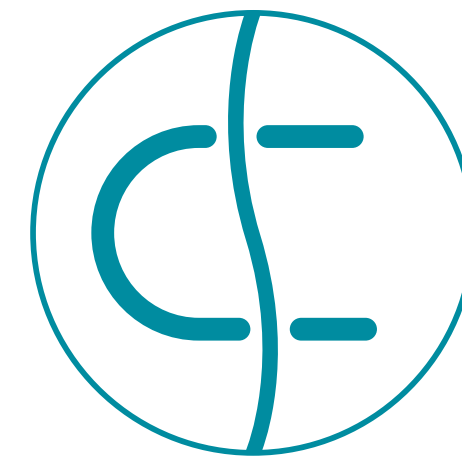
再生医療をベースとした「未来医療国際拠点」全体を  
オーガナイズする「未来医療推進機構」の設立者として参画

整形外科、形成外科、産科・婦人科に加え、更なる対象領域の拡大が見込まれる

## 当社がサポートする現在の疾患領域



日本は再生医療関連法基盤の先進国であり、当社の事業モデルはグローバル展開が可能



CellSource

市場に先行参入した強みを生かし、  
グローバル市場への進出も視野に入れ事業を推進してまいります。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、市場環境、法的規制、品質・安全性の確保及び製造体制、特定の取引先、風評リスク、研究開発、広告宣伝戦略、システム障害等が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。





CellSource